

豊かな県民生活への道

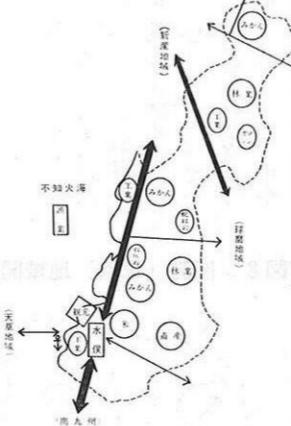
開発地域

開発地域は、従来、阿蘇特定地域、球磨川流域、水俣市、この地域における経済の中心として、道路、港湾の整備とともに工業の振興をはかり、関連産業の立地を促進し、商業、教育、観光のセンターとして発展をはかっています。

なお、水俣市は、この地域における経済の中心として、道路、港湾の整備とともに工業の振興をはかり、関連産業の立地を促進し、商業、教育、観光のセンターとして発展をはかっています。

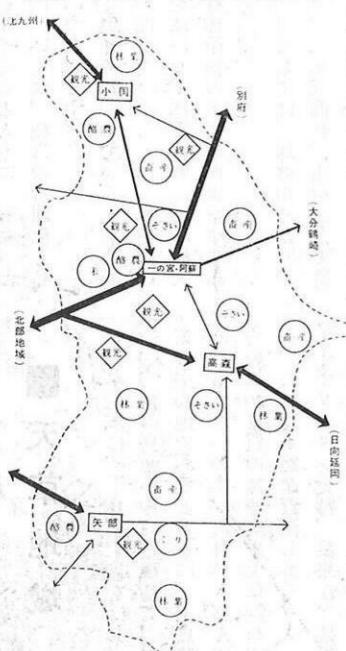
阿蘇地域

阿蘇地域は、阿蘇のカルデラ地帯を中心にして、北に小国、南に矢部の高原山林地帯を合わせた高冷地域であり、きびしい自然条件をかかえているのです。しかし、世界的な複式活火山である阿蘇ははじめ多数の温泉地、また九州横断道路の開通によって最近脚光をあびている瀬の本高原など豊富な観光資源をもつ国立公園であり、観光開発の重点地域でもあります。

<図6>
振興(南部)地域開発構想図

米につきましては、果樹労力との調整のため一部直播を導入して生産性を高め、畜産などにつきましても省力と品質の向上につとめます。また、林業は、有名な松の短期育成林業ですから、肥料を主とする早期育成林業を推進するとともに、特殊林産物の主産地形成、林道網の充実をはかります。さらに、観光については、芦北海岸、天草、南九州を結ぶ観光ルートの設定と施設の整備を促進するとともに、温泉地や海辺レクリエーション地帯の施設の整備をはかります。

磨川調査地域、天草島離島振興地域として開発がすすめられてきた地域です。高冷な山間、温暖な島嶼など特殊の地理的条件を備えた地域でありますので、地域の特性に応じて、農林漁業の近代化を推進するとともに、観光開発をはかり、また地域経済交流の中心となる地方都市の育成や中小工業の誘致など、立地条件の総合的な開発とその有効利用をはかります。

<図7>
開発(阿蘇)地域開発構想図

あります。また、農業の面でも、古くからあか牛の产地で知られ、最近では酪農や高冷地そいの適地として急速な伸びをみせています。また林業は、自然条件に恵まれ、全国的に有名な小国、矢部などの林業地帯を形成しています。

したがってこの地域の開発の方向としては、まず広大なこの地域の経済交流を活性化するため、一級国道五七号線、主要地方道高千穂大津線、熊本浜線、九州縦断道路、奥地産業開発道路、およびこれらの幹線道路と接続する道路の整備を行なうとともに、国鉄高千穂線、小国線の新線建設を促進し、地域資源の活用と産業開発をはかります。特に観光面では阿蘇山および九州横断道路を中心とした総合的な開発をはかりながら、外輪山をめぐる阿蘇スカイライン構想の実現などを視野に入れて、温泉地や宿泊休養施設を整備して、観光客の滞在率を高めるようにします。

農業では、国営草地改良など牧野改良を積極的に行ない、草地利用と家畜衛生対策の強化、放牧利用方式の確立など総合的な施策により、乳用牛、肉用牛の多頭飼育をすすめ、畜産地帯として振興をはかります。米につきまして、水田平地のほ場ができるだけ広く整備して稲作の合理化をはかりながら、畑原野の高度利用による高冷地そいや加工そさい、くりなど換金作目の主産地形成をはかります。その他蚕桑、たばこ、茶についても地域を選定して振興をはかっています。

林業については、林業総生産の増大のため、原野拡大造林を推進し、立地条件に適した特殊林産物の主産地形成、林道の開設をすすめています。



上・蚕箔の薬剤消毒は飼育前の準備作業



上・卵からカイコにかえす時の指導も



左・部落会議で一席……



下・桑園の航空防除でヘリに塔乗…

右・ほ場で桑の発育状況を現物を示しながら指導



省力養蚕の手と足

いま流行の省力養蚕は、農家の副業というより立派な産業として、国内外市場で安定した伸びを示している。絹糸業の重要なボイントとなつてゐる。かつての戦時体制の頃県下の桑園もことごとくカライトモ烟に変つたが、戦後はいちはやく復活し、養蚕技術も驚く程の飛躍をみていく。こういった新しい方法や技術を現地で普及指導しているのが蚕業指導員。県下九ヶ所の蚕業指導所に四十二名が駐在。これらの指導員たちとタイアップしながら指導の浸透をはかつていて、のに嘱託改良普及員がいるが、双方の協力で年間の改良普及計画がたてられ、飼育の集団指導、モデル養蚕農家の育成などが行われている。このほかに桑の病気（芽ぐされ病、いしゆく病など）を未然に防ぐための桑の発育状況予察や、BMクラブや養蚕婦人部の連けい育成などいろいろと蚕業指導員のキャリアは広いようだ。